

会議録様式

| | |
|-----------|--|
| 審 議 会 名 | 令和3年度第1回杉戸町子どもにやさしい街づくり推進会議 |
| 開 催 日 時 | 令和3年6月16日(水) 午前10:00～午前11:00 |
| 開 催 場 所 | 第2庁舎2階第1・2会議室 |
| 会 議 の 議 題 | (1) 第2期杉戸町子ども・子育て支援事業計画令和2年度実施状況及び令和3年度実施計画について (2) 認可保育所の整備について |
| 公開・非公開の別 | 公開 ・ 非公開 (公開の場合傍聴者数 5人) (非公開の場合理由) |
| 出席委員氏名 | 清水信武会長 水野順子副会長 荒川三和副会長 大越佳代子委員 濱田明美委員 鈴木恵子委員 冨澤義之委員 堀江泰一委員 鈴木史子委員 萩原和彦委員 渡辺真理子委員 三田陽平委員 会田明美委員 三宅佳乃委員 冨塚直子委員 |

審 議 の 概 要

審 議 事 項

(1) 第2期杉戸町子ども・子育て支援事業計画令和2年度実施状況及び令和3年度実施計画について (資料1)

○事務局より資料1の説明を行う。

○質疑応答

・委員(意見)

コロナ禍によりできないことがたくさんあった。達成度Eとなっている事業を見ると、すべて事業が中止となっている。幼稚園でもいろんなことが中止となった。子ども達の安心安全を考えるとそれは当たり前のことである。ただ、考え方としてコロナだから何もできなかったではなく、コロナ禍でもこんなことができた、というようにできることを考えていく。コロナはまだ収束していないので今年もいろんなことが中止となるのではないかと思う。考え方として、コロナだから仕方がないではなく、コロナの中で何ができるかを考えながら、様々な事業を進めてほしいと思う。ただ、子ども達の安心安全が第一なので、無理なことはあると思う。現在、リモートとか、いろいろなところで配信が行われている。それを見ながら子供たちは楽しむことができていると思う。学校の授業もリモートでいろんなことが始まっている。何かできないことを探すのではなく、できることを探すというような方向を考えてほしいと思う。

(2) 認可保育所の整備について(資料2)

○事務局より資料2の説明を行う。

○質疑応答

・委員(質問)

新しい認可保育所の定員について。現在、育児休暇を取る方が多くいる。保育園でも0歳児が空いて1歳児からいっぱいとなり、非常にお母さんたちが困っている。休みは取れるけれど、保育園に入るために早めに休暇を切り上げて0歳児から預けるというお話をたくさん聞いている。0歳児定員をみると9名で1歳児定員が12名となっているが、これだと0歳児から9名が持ち上がり、1歳児から新規で入れる子どもが3名ということになる。0歳児、1歳児の定員については柔軟に考えていただけるのか。

(回答)

資料にもある通り、現在のところ定員については100名程度を予定しており、例として各年齢の定員を掲載している。今後、出生数の動向や保育需要を見ながら、事業者が決定次第、協議しながら定員設定について検討をしていく。

・委員(質問)

質問になるが、認可保育所資料内の活用イメージ図の中で、認可保育所の整備は、「認可保育所」となっている部分のみの計画なのか。周りの都市公園や複合施設のすべてを含めた計画なのか。

(回答)

活用イメージ図の白枠の中が認可保育所の整備予定地となっている。今回、認可保育所の整備について、利用定員の設定等、認可保育所に関連するご意見をいただきたくお集まりいただいた。白枠以外の部分は別事業となっている。

・委員(意見)

国連において、平成16年ごろに世界の水準を同じようにしようということが話合われ、2030年ごろを達成目標に教育の質を向上しよう、どんどん良くしていこうということが挙げられた。幼児教育も含め、いいもの(教育)を子供たちに与えていこう、そこには、関わる保護者の負担も軽くしていこう、ということが当然含まれる。皆さんもそのような考えを心のどこかに留め、今後においても町が少しでも良くなるよう考えていただければと思う。

(全員) 他意見等なし

閉 会